

授業科目(ナンバリング)	介護基礎学 I (DA103) (実践的教育科目)			担当教員	※田中 千恵美 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・前期	必修・選択	選択 (介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>専門職として介護を展開する際には、科学的根拠に基づいて、今後予測しうる様々な状況を想定していく能力が必須である。その基礎として、人体の構造や心身機能に関して基本的事項を理解し、移動、睡眠、身じたくや入浴、清潔保持、食事、排泄、終末期等の介護行為に関して心身から両面とらえることができ、安全面での留意点や心理的配慮ができるようになる。様々な機能障害が起こり、疾病等が生じる事例などを、実務経験を踏まえた事例などを織り交ぜながら、より理解を深めていく。</p> <p>本講義では、介護を必要とする人の生活支援を行うため、介護実践の根拠となる人間の心理、人体の構造や機能を理解する学習とすることもねらいとしたい。</p>							①③⑦⑨
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	基礎的な身体やこころのしくみを踏まえ、障害や疾病に起因する背景を説明できる。				・定期試験 ・小テスト	40% 10%	
情報収集、分析力	自分の身体に起こる様々な現象を気付き、その機序を調べ、考察できる。				・課題レポート	10%	
コミュニケーション力	人間の諸臓器の解剖・生理を理解し、それぞれの関連性を説明できる。				・受講者の発表	20%	
協働・課題解決力	人間の身体に起こる様々なトラブルについて、その機序を理解し、主な対処方法を説明できる。				・定期試験	20%	
多様性理解力	人間の身体に起こる様々なトラブルなどが今後いかに人のQOLに影響するかを説明できる。						
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験の成績を60%とし、筆記試験を行う。 定期試験は、身体各部の名称や働きについて正確な知識の習得を評価する。 ・授業中の受講者の発表(20%)の取り組みや、小テスト(10%)への取り組みや成績も総合的に評価する。 ・小テスト等のフィードバックは授業中に適宜行う。また、小テストの内容は自己学習の資料としても使用する。 ・また、13回目に課題レポート(10%)を課し、食事をとることの意義目的について考察する。 							
授業の概要							
<p>人間の日常生活の基本となる、移動、睡眠、身じたく、入浴、清潔保持、食事、排泄、終末期等に関連する介護技術の根拠となる知識についての理解を深めていく。様々な機能障害が起こり、疾病等が生じる事例などを、保健師・看護師の経験を踏まえた事例などを織り交ぜながら、より理解を深めていく。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：最新・介護福祉士養成講座 11/こころとからだのしくみ/中央法規 ：ぜんぶわかる人体解剖図/成美堂出版</p> <p>指定図書：系統看護学講座/解剖生理学/医学書院</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>ただ単に、介護技術を提供するだけでは、専門職とはいえない。専門の知識や技術を用い対象者の状況にあった介護を展開していくことが重要である。そのために必要な科学的根拠となる身体の構造や働き、精神的な関連などを学び、介護過程をはじめとする、介護全般の基礎をしっかりと身につけて欲しい。</p> <p>また、授業中の態度に問題のある学生に対しては、減点の対象とする。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	こころとからだのしくみ I 健康とは何か こころのしくみの理解①	人間の基本的欲求と尊厳について理解し、介護の基本となる基本的な構えについて学ぶ。	予：人間の基本的欲求についてまとめる 復：要点整理
2	こころとからだのしくみ I 健康とは何か こころのしくみの理解②	こころのしくみの基礎を学ぶ。	予：人間の脳がなぜ高次の機能を果たせるのかまとめる 復：要点整理
3	こころとからだのしくみ I ①	ホメオスタシス、細胞・遺伝、生殖器についてのしくみとはたらきについて理解する。	予：ホメオスタシス、細胞・遺伝、生殖器についてまとめておく 復：要点整理
4	こころとからだのしくみ I ②	血液、リンパ、循環器についてのしくみとはたらきについて理解する。	予：血液、リンパ、循環器についてまとめておく 復：要点整理
5	こころとからだのしくみ I ③	呼吸器、嗅覚、味覚についてのしくみとはたらきについて理解する。	予：哺乳類における呼吸器の重要性について調べる 復：要点整理
6	こころとからだのしくみ I ④	脳神経、自律神経、視覚についてのしくみとはたらきについて理解する。	予：生活の中で自律神経を意識した体験についてまとめる 復：要点整理
7	こころとからだのしくみ I ⑤	内分泌系、内分泌についてのしくみとはたらきについて理解する。	予：ホルモンがからだの働きに影響した体験をまとめる 復：要点整理
8	こころとからだのしくみ I ⑥ からだの動き	加齢による機能低下、運動器の働き、ボディメカニクスについて理解する。小テスト	予：体を意識して動かす機序について調べる 復：要点整理
9	こころとからだのしくみ I ⑦ 身じたくに関連したこころとからだのしくみ①	基礎知識として、爪、毛髪、口腔等の構造と機能について学び、身じたく行為の生理的な意味や心理的な意味から、セルフケアについて考えていく。	予：学生の身じたくのこだわりについてまとめる 復：要点整理
10	こころとからだのしくみ I ⑧ 身じたくに関連したこころとからだのしくみ②	身じたくに関連して、医療的ケアが必要となる生活場面でのこころとからだの病気や不調について学ぶとともに、変化への気づきと対応、様々な医療機関や医療職との連携について学ぶ。	予：自分で身じたくができなくなる要因について調べる 復：要点整理
11	こころとからだのしくみ I ⑨ 移動①	移動に関する機関のしくみと具体的な働きについて理解する。	予：筋肉と骨の働きについて調べる 復：要点整理
12	こころとからだのしくみ I ⑩ 移動②	心身の機能低下が移動に及ぼす影響及び変化の気づきについて学ぶ。	予：移動が困難になる疾患について調べる 復：要点整理
13	こころとからだのしくみ I ⑪ 食事に関連したこころとからだのしくみ①	食事に関連した身体機能のしくみと働きについて理解する。 課題レポート「食事をとることの意義・目的について」	予：学生の実家の雑煮の中身について調べる 復：要点整理
14	こころとからだのしくみ I ⑫ 食事に関連したこころとからだのしくみ②	心身の機能低下が食事に及ぼす影響について理解する。	予：過去に身体のトラブルで食事が十分にとれなかった体験をまとめる 復：消化、吸収についてまとめる
15	こころとからだのしくみ I ⑬ 食事に関連したこころとからだのしくみ③	変化の気づきと対応について学ぶ。	予：食事場面での観察のポイントについて調べる 復：要点整理
16	定期試験		